

総合科目領域 教育課程の編成及び実施に関する方針

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	
豊かな教養・知識に基づく高い倫理観	〔DP-1〕 社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。	〔CP-1〕 法学部専門教育科目に加え、総合科目の「哲学と思想」「社会と文化」「人間と環境」の各コース科目の系統的な学修を通じ、豊かな人間性と寛容な精神、強靱な思考力、広範な学識を身に付けることで、高い倫理観を涵養し、自らの持ち場で適切に判断し、行動する力を育成する。
日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	〔DP-2〕 日本及び世界の法、政治、行政、経済及びジャーナリズムの仕組みと、それが直面している問題を理解し、説明することができる。	〔CP-2〕 法学部専門教育科目の学びと連関させながら、「哲学と思想」「社会と文化」「人間と環境」の各コース科目を系統的に学ぶ中で、歴史と文化、自然条件等を踏まえながら、日本及び世界各地域の社会システムを理解し、直面する問題の構造を根源的に考察し、その理解を適切に整理・表現する力を育成する。
論理的・批判的思考力	〔DP-3〕 社会科学の基礎的知識を基に、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	〔CP-3〕 「哲学と思想」「社会と文化」「人間と環境」の各コース科目の系統的な学修を通じ、さまざまなものの見方・考え方に触れる中で批判的な精神を涵養し、確かな根拠と合理的な考察とに基づいて、主体的な意見を形成する力を育成する。
問題発見・解決力	〔DP-4〕 社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にかかわる中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	〔CP-4〕 「哲学と思想」「社会と文化」「人間と環境」の各コース科目の系統的な学修を通じて、現代社会についての問題意識や分析視角・研究手法を涵養して、直面する諸事象について主体的に考察し、その解決策を提案する力を育成する。
挑戦力	〔DP-5〕 法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	〔CP-5〕 「哲学と思想」「社会と文化」「人間と環境」の各コース科目の系統的な学修を通じて身につけた、教養と学識に対する自信と誇りの上に立ち、理念の創造や社会の改革に主体的に取り組む勇気と粘り強さを育成する。
コミュニケーション力	〔DP-6〕 多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質、感性及び価値観を理解・尊重し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。	〔CP-6〕 総合科目の「探求科目群」「演習科目群」、その他の科目における協働作業を通じ、多様性を尊重する開かれた態度をもって、他者の意見に耳を傾け、自らの考えを効果的に伝達する力を育成する。
リーダーシップ・協働力	〔DP-7〕 社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	〔CP-7〕 総合科目の「探求科目群」「演習科目群」、その他の科目における協働作業を通じ、相互の成長や問題解決の経験、協働することの喜びを積み重ね、協働の技法や集団の力を引き出すリーダーの役割を理解し、積極的・主体的に協働に参画する意欲を育成する。
省察力	〔DP-8〕 他者からの評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	〔CP-8〕 総合科目のすべての科目における主体的な振り返り学修や成績評価を踏まえ、自己の達成と問題点を明らかにし、次なる課題や目標を定め、それを自己のさらなる成長に結びつける力を育成する。

〔C P〕 カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施に関する方針

〔D P〕 ディプロマ・ポリシー：卒業の認定に関する方針